

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告の件

1. はじめに

現在進められている障害者制度改革は、一昨年 7 月の障害者基本法の改正に引き続き昨年 6 月障害者自立支援法に代わる障害者総合支援法を成立させました。また、制度改革の大きな目標の一つであった障害者解消禁止法が現在開会中の国会で審議されようとしています。

障害者総合支援法は、障害の範囲や障害支援区分の在り方など様々な課題を抱えています。コミュニケーション支援に関しては、「意思疎通支援を行う者の派遣」を市町村の必須事業として明記し、「意思疎通支援を行う者のうち、特に専門性の高い者を養成し、又は派遣する事業」と「意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応が必要な事業」を都道府県の必須事業として規定しました。

このような状況の中、協会は東京都との懇談会や都議会各会派とのヒアリングで東京都の要約筆記者派遣事業の再構築を強く求め、東京都聴覚障害者福祉対策会議（以下福祉対策会議）などを通じて関係団体と連携を強め、東京都での障害者制度改革の推進に注力してきました。また、対内的には事業委員会の再編、広報委員会・防災委員会の設置など組織・事業の再編成を行い、協会活動の活性化と組織の強化を図ってきました。

2. 協会の対外活動

平成 24 年度の協会の対外活動は、要約筆記者派遣事業の拡充・強化を求める行動を中心に進められました。

要約筆記者派遣事業については、平成 21 年度以降按分方式による派遣が継続されていますが、参加者の事前申請や広域的な集まりの情報保障を居住区市が担う制度的な不備は解消されておらず、東京都の責任のある事業実施を求める協会の考え方と相容れません。障害者総合支援法の意思疎通支援事業に関する規定は私たち協会の要約筆記者派遣事業に対する考え方に沿ったものであり、7 月の東京都福祉保健局との懇談会及び 9 月の東京都議会各会派との予算ヒアリングで東京都としての要約筆記者派遣事業の必要性を強く要望しました。一方、国・厚生労働省は本年 2 月に地域生活支援事業実施要綱案を発表し、3 月には通知文を以て意思疎通支援事業の開始を都道府県に求めています。平成 25 年度よりの東京都の要約筆記者派遣事業の開始が強く望まれます。

協会は、要約筆記関係以外にも、字幕表示・磁気ループの設置を求めて区市・公共機関へ協会要望を繰り返し、建て替えられた歌舞伎座では客席への字幕表示の取り付けが実現しました。また、選挙関係では¹東京都聴覚障害者福祉対策会議参政権委員会の活動に参加し、12 月の衆議院議員選挙では各投票所にコミュニケーションボードが準備されました。

このように、平成 24 年度の対外活動として協会は東京都福祉保健局との定期懇談会の実施、都議会各会派の予算ヒアリング参加の定例化、福祉のまちづくりへの具体的行動など、次年度以降に繋がる活動を進めました。平成 25 年度は障害者差別解消法の制定、国連障害者権利条約の批准の動きが予想されます。協会はこれらの動きに連動して、共生社会の構築に向けて協会の活動をさらに強化したいと考えます。

3. 協会の対内活動と組織強化

3.1 対内活動

協会の対内活動は平成 24 年度事業計画に沿って進められました。1 月に実施した「東京都中途失聴・難聴者の集い」では約 400 名の参加があり、協会内外の中途失聴・難聴者の盛大な交流が実現しました。また、新宿区社会福祉協議会と協働し「聞こえの問題を考える連続講座」を開催、地域での中途失聴・難聴者の自立のための学習活動を実施しました。その他、各種講座、講習会を例年通り実施しました。協会が実施する講座、講習会は中途失聴・難聴者が互いに交流し、助け合う「場」であり、私たちが学習を重ねる重要な活動の「場」です。それぞれの専門部・運営担当は個別の活動の中で協会の事業目的の達成に努力し、サークルは協会員の交流の場として非常に大きな役割を果たしました。非協会員や支援いただく人への働き掛けなど多くの課題を抱えています。今後とも中途失聴・難聴者の自助・共助の「場」としての活動を強化していきたいと考えます。

¹「東京都聴覚障害者の参政権保障委員会」は福祉対策会議に組み込まれました。

3.2 組織強化

協会組織の強化のために、事業委員会の再編成、広報委員会・防災委員会の設置を行いました。事業委員会は既存の委託事業・自主事業の遂行に加え、新規の委託事業・自主事業の開発を担当します。組織の再編成に伴い理事 3 名が事業委員に就任し、従来の事業委員は各事業の運営担当となりました。広報委員会は、協会ニュースの編集、協会ホームページの管理、その他の協会の広報活動を一元的に管理するために設置され、事業委員会同様理事 4 名が就任しました。また、東日本大震災以来課題となっていた協会の防災活動のために防災委員会を立ち上げました。現在、防災委員会は理事 3 名、専門部長 1 名で構成されています。各委員会とも年度途中の組織改正、組織立上げでしたが、平成 25 年度以降新たな計画の下に活動を本格化させたいと考えております。

協会のもう一つの大きな課題として、各区市中途失聴・難聴者の集まりとの関係構築がありますが、現在は組織部を中心に地域ネットワークを作り関係の強化を図っています。今後の協会の在り方、東京都の中途失聴・難聴者の組織化をどのように進めるか非常に大きな課題ですので、平成 25 年度以降理事会を中心に議論を進めていきたいと考えております。

3.3 協会財政

数年来課題となっています協会員拡大は、各種の集まりなどで会員・賛助会員の拡大を図りましたが、高齢で退会される方も多くあり、平成 24 年度は目標 687 名に対し 666 名に止まりました。会員数の伸び悩みは協会活動の停滞をもたらすのみでなく、一般事業会計の収支を圧迫する要因となっています。平成 24 年度は、一時的な公租公課の還付があったため、収支不足は避けられましたが、平成 25 年度以降助成金・補助金収入の大幅な増加は期待できず、寄附金の拡大と管理費を中心とする経費の見直しの進展がないと協会財政は収支不足・赤字の状態が続くと予想されます。会員拡大、事業拡大に併せて会費や管理費の見直しなど財務の改善が大きな課題となります。

4. まとめ

NPO 法人化して 10 年、中途失聴・難聴者の当事者団体としての協会の社会的な役割は益々大きくなってきています。また、増加する中途失聴・難聴者の自助・共助の場としての役割も益々重要になってきています。協会は本年 2 月認定 NPO 法人の申請を東京都に行いました。認定可否の結果を受けるには 6 か月位必要とされていますが、認定可否に係らず業務の仕組み、経理の仕組みの改善を進めなければ協会の社会的使命は果たせません。理事会、事業委員会、専門部での協会員各位の協力に加え、様々な障害者団体、とりわけ聴覚障害の関係団体や要約筆記団体などのご協力で平成 24 年度の事業を実施出来たことを報告すると同時に、協会は協会員一人ひとりが作り上げるものという東京都中途失聴・難聴者協会設立の原点に戻って新しい年度の活動を開始したいと考えます。

昭和 51 年 2 月 25 日 第三種郵便物許可（毎週 4 回月曜・火曜・木曜・金曜日発行）
 2013 年 4 月 30 日発行 SSKO 協会ニュース議案号 通巻 8330 号
 発行人 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会（世田谷区砧 6-26-21）
 編集人 特定非営利活動法人 東京都中途失聴・難聴者協会 新宿区新宿 2-15-25-202 TEL 03-5919-2421（頒価 450 円）

事業報告(一覧)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳入門講座	平成 25 年 2 月 10 日	新宿区産業会館(BIZ 新宿)	49
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	年間	東京都障害者福祉会館 他	100
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	月 1 回、年間 9 回	東京都障害者福祉会館	218
	実践読話講習会	月 2 回、年間 18 回	東京都障害者福祉会館	368
	地域コミュニケーション啓発講座	年間 5 回	国立市・文京区・豊島区・東久留米市・目黒区	146
	地域福祉・相談支援ゼミ	年間 20 回	東京都障害者福祉会館	158
	応用手話講習会	月 2 回、年間 20 回	東京都障害者福祉会館、多摩障害者スポーツセンター	1216
	新宿区社協共催事業	年間5回	新宿区社会福祉協議会	99
	講師等派遣	国立身体障害者リハビリテーションセンター学院・世田谷福祉専門学校・手話通訳等派遣センター 他		35
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所	60
	テキスト・ビデオ作成	年間	当会事務所 他	10
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	年間	当会事務所	84
	第 27 回集い	平成 25 年 1 月 20 日	新宿区	400
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 12 回	東京都障害者福祉会館	269
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	50
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	当会事務所	100
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化 部各サークル等	月 1~2 回	東京都障害者福祉会館 他	2000
コーディネーター	高齢難聴者生きがい講座・実践読話講習会・地域コミュニケーション啓発・地域福祉相談支援ゼミ等事業計画・進行管理・会計処理・事務処理	平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日	当会事務所	168

2. 収益事業

自動販売機による委託販売

東京都庁第一本庁舎鍛冶屋橋クラブ・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園、東京しごと財団(2 台)・東京都第六建設事務所

事業報告

事務局

1.体制

事務局長：高岡芳江 職員：毛塚節子、坂部美秋、高田香苗、高橋貴子、松枝朋美、森井美幸

2.活動報告

- ・理事会(4/21・5/13・5/26・6/23・8/25・9/22・10/27・11/24・12/22・1/26・2/23・3/23)
- ・運営協議会(5/26・7/28)
- ・東京都福祉保健局との懇談会(7/12)
- ・新宿区社会福祉協議会共催事業「聞こえの問題を考える連続講座」
 9/15(19名)・10/20(21名)・11/17(21名)・12/15(20名)・1/19(18名)
- ・「手話・字幕付胃検診」受付 9/1(12名) 10/6(13名)・11/17(18名)・12/1(2名)
- ・高齢者対象「手を動かそう」月 1 回第 3 金曜日 11 回実施。延べ 143 名参加。
 4/20(16名)・5/18(12名)・6/15(7名)・7/20(12名)・9/21(14名)・10/19(11名)・11/16(14名)・
 2/21(17名)・1/18(14名)・2/15(14名)・3/15(12名)
- ・協会ニュース発送 毎月 1 回 第 2 土曜日 12 回 会員有志の協力
- ・実習生受け入れ(日本福祉教育専門学校 2 年生 2 名) うち 10 日間
- ・「第 42 回耳の日記念文化祭」参加(3 月 2 日・3 日)
- ・「自立支援センターまつり」参加(7 月 16 日)
- ・相談員派遣：かがやき夢工房(月 1 回毎回 2 名) 4 月～3 月 第 3 木曜日 午後 1 時～5 時
- ・例会 毎月第 4 日曜日 12 回

実施日	テーマ	参加者
4 月 22 日	派遣センターセミナー～中難協版～	18
5 月 27 日	通常総会	89
6 月 24 日	伝えよう！私の考え、コミュニケーションの楽しさ	13
7 月 22 日	フリーマーケット&会員インタビュー	15
8 月 20 日	被災地支援を続けながら考えてきたこと	25
8 月 26 日	「Give and Go」上映&監督トーク	42
9 月 23 日	みんなでフィットネス	16
10 月 28 日	聞こえの商店街	78
11 月 25 日	新入会員説明会・交流会	19
12 月 23 日	クリスマス会	80
2 月 24 日	若者によるプチシンポジウム	40
3 月 24 日	もっと話そう！難聴者の就労のこと～アメリカの支援体制と事例から学ぶこと	30

事業委員会

各事業担当者である事業委員 6 名で構成され、それぞれの事業運営を行うとともに、各事業運営に対してのフォローや、スタッフ選任、面接等を行った。手話講習会のあり方検討事業を実施した。

1. 高齢難聴者生きがい講座(運営担当：鈴木蘭子)

平成 24 年 6 月 13 日(月)～平成 25 年 3 月 25 日(月) 原則第 4 月曜日 12 回

会場：東京都障害者福祉会館

講師：(読話)桜井武志・(手話)村山好広・岡田恵美子・志村瞳・入月幸子・坂山己世・小林順子

開催日(参加者数)：6/13(34) 7/23(29) 8/27(32) 9/24(26) 10/8(24) 10/22(31) 11/26(20)

12/17(25) 1/14(13) 1/28(23) 2/25(18) 3/25(24) 合計 299 名

2. 手話講習会応用(三田 I/II・多摩 I/II)(運営担当：米田幸枝・小島敦子)

◇三田応用 I/II 平成 24 年 4 月 26 日～平成 25 年 3 月 14 日 計 20 回

会場：東京都障害者福祉会館

講師:米田幸枝・中村みずほ

開催日(参加者数)

応用 I : 4/26(27) 5/10(24) 5/24(23) 6/14(23) 6/28(23) 7/12(21) 7/26(23) 8/23(22) 9/13(22) 9/27(18) 10/11(22) 10/25(20) 11/8(21) 11/22(20) 12/13(19) 1/10(21) 1/24(20) 2/14(18) 2/28(20) 3/14(19) 延 426 名

応用 II : 4/26(21) 5/10(20) 5/24(21) 6/14(20) 6/28(22) 7/12(21) 7/26(19) 8/23(18) 9/13(19) 9/27(18) 10/11(22) 10/25(19) 11/8(22) 11/22(18) 12/13(20) 1/10(16) 1/24(18) 2/14(19) 2/28(18) 3/14(19) 延 390 名

◇多摩応用 I (9 名)/II (12 名)→修了 I (9 名)/II (11 名)

平成 24 年 4 月 24 日～平成 25 年 3 月 12 日 計 20 回

会場:多摩障害者スポーツセンター

講師:村山好広・坂山己世

3. 実践読話講習会 (運営担当:大江千枝)

平成 24 年 6 月 6 日(水)～平成 25 年 3 月 6 日(水)毎月第 1・3 水曜日 18:30～20:30

年間 17 回(一般講座 16 回[開講式・修了式を含む] 特別講演会 1 回)

会場:東京都障害者福祉会館

受講者:26 名(途中退講者 3 名・延べ 298 名)

講師:桜井武志 補助員:有馬富江・大庭由江

◇多摩特別教室 4 回(9/6 9/10 9/20 10/1) 受講者 22 名(延べ 70 名)

講師:桜井武志 補助員:青木房子・小島敦子・小林圭子

4. 東京都中途失聴・難聴者手話講習会(運営担当:高岡芳江[三田]・今井節子[多摩])

前期:平成 24 年 4 月 15 日(金)～9 月 30 日(金)

三田:入門・初級・中級・上級 多摩:入門・初級・上級

後期:10 月 14 日(金)～平成 24 年 3 月 23 日(金)

三田:入門・初級・中級・上級 多摩:入門・初級・中級

コミュニケーション対策部

1. 体制

部長:福田能文 部員 2 名 ボランティア協力 3 名

2. 活動報告

「コミかるカフェ作ろう！」が好評につき、継続して開催。計画通り年 6 回開催した。非会員の参加が多かった。広く協会の存在を社会にアピールし、公益性の高い事業展開ができた。他方、部員の獲得に手が回らず、安定した運営への課題が浮き彫りになった。

	日付	タイトル	参加者	非会員
第 9 回	7 月 5 日	職場のコミュニケーション(3)	18	10
第 10 回	8 月 2 日	補聴器と補聴援助機器	19	10
第 11 回	8 月 19 日	特別編 戦争と平和	11	1
第 12 回	12 月 19 日	職場のコミュニケーション(4)	19	12
第 13 回	3 月 13 日	東日本大震災を振り返る	12	5
第 14 回	3 月 27 日	アメリカの難聴者の生活は？	19	9

* 10 月例会「聞こえの商店街」の業務設計、運営に協力。

* 3 月例会「もっと話そう！難聴者の就労のこと」の企画運営を担当。参加者のエンパワーメントの支援を意識して業務設計をした。若い参加者が多く、参加者の半分が非会員だった。内容も参加者から高い評価を得た。少ない戦力の中にもありながらも、周囲の協力を得ながら、そして確実に参加者の信頼を得ている。

* この他クリスマス会、集いの要員として協力。

福祉対策部

1. 体制

部長 小川光彦 副部長 寺田翔 会計 今井節子(→途中まで宇賀神聡子)

構成人数 8人 上記の他、名倉克己、高橋一也、今井節子、神野見帆

運営会議 年9回開催

2. 活動報告

(1) 協会内部

8月26日(日)例会担当 映画「Give and Go」(ギブ アンド ゴー)上映&監督トーク!

・部会実施 4/23,5/28,7/23,8/27,9/24,10/15,11/26,12/17,2/25 9回

・協会ニュースへ随時福祉関係情報提供

・防災連絡システムの検討及び配信の試行

4/3(大雨)、5/18(地震・交通混乱)、6/1(地震・交通混乱)、12/7(津波注意報)、

12/13(線路内発煙のため交通混乱)、1/14(大雪の交通混乱) 計6回

・地域の防災訓練参加及び啓発の推進 9/2 中野区等

・集いででの携帯電話防災活用企画ブース運営等、協会諸行事の実施協力

(2) 協会外部

・全要研支部との災害対策合同協議。

(5/13,6/10,7/1,8/12,9/9,11/12,9/1,6,2/10,3/10)10回。

・7/12 対東京都要望交渉協力

3. 特記事項

5/25に部員の久能浩昌氏が逝去。7/8、偲ぶ会。

従来の事業内容や位置づけを協会内で整理する過程にあり、一部活動について協会理事会へ移行した。

その他福祉関係の最新情報の収集、発信に努めてきた。

要約筆記普及部

1. 体制

部長:神野見帆 副部長:高岡芳江

2. 活動報告

「今後の要約筆記について学ぼう」2012年12月10日(月)実施

平成25年4月から施行された障害者総合支援法での情報・コミュニケーション支援の仕組みについて、10

月22日厚生労働省で開催された障害保健福祉関係主管課長会議資料を見ながら、今後の要約筆記事業

がどう変わっていくのかを詳しく学びました。障害者自立支援法を念頭において、改正点に着目することで、

制度がどう変わったか理解できました。

手話対策部

1. 体制

部長:岡田恵美子 副部長:柏原玲子 会計:入月幸子 部員:28名

2. 活動報告

(1) 部会

(2) 部内研修

自己啓発のための部内研修会(2回)

:村岡美和氏、寺崎緑氏を講師に招き開催

(3) 自主勉強会

中途失聴者・難聴者にわかりやすい手話表現の検討(1回)

(4) 「豊かなコミュニケーション」指導手引書:入門編完成

(5) 会員のためのミニ手話講座開催(1回) 参加者67名

(6) 協会協力

・高齢難聴者生きがい講座(手話)に協力(5回) ・「集い」実行委員5名 その他協力

会報編集部

1. 体制

部長:木本練子 副部長:柴田由美 会計:中村道

2. 活動報告

- (1)会報「協会ニュース」の編集(毎月第 2 土曜日発行)No.311～No.323(2012/ 4～2013/ 3)
- (2)編集会議(毎月第 2 水曜日)を開催
- (3)パソコン学習会(12 月)
- (4)12 月例会(クリスマス会)の実行委員担当

組織部

1. 地域ネットワーク活動

地域での中途失聴・難聴者及びその支援者の組織化を進め、地域活動と協会活動の連携を強化する活動を行った。

- (1)ネットワーク・ニュースの発行:年間 12 回発行。
- (2)第 4 回「地域ネットワークを語る会」:9 月 8 日 東京都障害者福祉会館において開催。
- (3)地域中途失聴・難聴者の会との話し合い:
 8 月 4 日 豊島区中途失聴・難聴者の会と東京都障害者福祉会館において話し合い。
 3 月 30 日 台東区中途失聴・難聴者友の会と台東区生涯学習センターにおいて話し合い。
- (4)ネットワークメンバー拡大:平成 25 年 3 月末現在メンバー数 72

2. 地域コミュニケーション講座の開催

地域ネットワークの活動に平行して、地域での聞こえに困っている方を対象にその社会参加を促す地域コミュニケーション講座を以下 5 箇所で開催した。

	国立市	文京区	豊島区	東久留米市	目黒区
開催日	5 月 12 日	7 月 7 日	10 月 13 日	25 年 2 月 16 日	25 年 3 月 9 日
開催場所	東京都多摩障害者スポーツセンター	文京区アカデミー茗台	豊島区生活産業プラザ	成美教育文化会館	聴力障害者情報文化センター
共催地域団体	—	—	—	—	—
テーマ (参加者数)	聞こえにくさの気づきとコミュニケーション (11)	聞こえに困っている人へのサポート (24)	きこえにくさ～本人の気づきと社会の気づき (10)	耳が聞こえない・聞こえにくくなってもおしゃべりが楽しめるようになるために(13)	よりよいコミュニケーションのためのヒント (41)
講演・講師	新谷友良氏	馬屋原邦博氏	新谷友良氏	高岡芳江氏	森せい子氏

3. 協会例会として、11 月 25 日新入会員対象の説明会・交流会を担当し、協会活動と今後の協会活動を担っていく人材発掘に努めた。
4. 上記事業計画を実行するため、月 1 回の組織部会を開催した。

【多摩会】

1. 体制

役員:安野イヨ子・金子キミ子・三妻邦子

例会:毎月第 2 日曜日 午後 1 時 30 分～4 時 30 分 役員会:例会当日午前 10 時 30 分～12 時

会場:多摩障害者スポーツセンター集会室・調布市市民プラザほか

2. 活動報告

例会日	内容	参加者数	情報保障	会場
4 月 8 日	茶話会「一緒に歌いましょう」	13		多摩スポーツセンター
5 月 13 日	野外活動ハイキング 「国立の里山を歩きましょう」	10		国立周辺
7 月 8 日	学習会「あなたの地域のあんなこと、こ	8	要約筆記	多摩スポーツセンター

昭和 51 年 2 月 25 日 第三種郵便物許可 (毎週 4 回月曜・火曜・木曜・金曜日発行)
 2013 年 4 月 30 日発行 SSKO 協会ニュース議案号 通巻 8330 号
 発行人 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 (世田谷区砧 6-26-21)
 編集人 特定非営利活動法人 東京都中途失聴・難聴者協会 新宿区新宿 2-15-25-202 TEL 03-5919-2421 (頒価 450 円)

	んなこと、もつと話あおう			
8 月 12 日	納涼会 立川駅近辺「がんこ」	8		立川駅近「がんこ」
9 月 9 日	「スポーツにまつわる話のあれこれ」	9	要約筆記 手話通訳	多摩スポーツセンター
11 月 11 日	座談会	9	手話通訳	調布市アクロス
12 月 9 日	ランチで情報交流会	11		首都大学東京
2 月 10 日	八王子市夢美術館	12		八王子市
3 月 17 日	茶話会	7		多摩スポーツセンター

実年部

1. 体制

名倉順子・関根一喜・若狭悠

2. 活動報告

- (1) 役員会: 毎月第 1 木曜日
- (2) 例会行事: 毎月第 3 金曜日
- (3) 協会ニュースに例会報告と次回のお知らせを掲載した。
- (4) 年 1 回協会例会担当
- (5) 協会行事への参加協力(総会、集会)
- (6) 定例会は下記のとおり実施した。

(延べ 253 人)

例会日	行事内容	人数	役員会	関係行事・その他
4 月 20 日	野外例会 サントリー武蔵野ビール工場	22	4 月 5 日	
5 月	協会総会		5 月 10 日	
6 月 15 日	語源を知って手話を楽しく	50	6 月 7 日	6/24～6/30 ノルウェー 国際難聴者会議
7 月 20 日	隅田川かわのぼり	30	7 月 5 日	センターまつり 7/16
9 月 21 日	講演会「聴覚障害者の夫を支えて」 講師: 藤澤美砂子氏	30	8 月 6 日	京都 長楽の集い 全国高年部会議 9/2～3
10 月 19 日	日本銀行見学	25	10 月 4 日	10/28 たましろフェスタ
11 月 16 日	講演: 早瀬久美氏	22	11 月 1 日	
12 月 25 日	協会クリスマス会		12 月 6 日	全国難聴者大会(埼玉) 12/1～3
1 月 18 日	東郷神社初詣と新年会	26	1 月 10 日	中難協集い 1/20
2 月 15 日	FM 補聴器と福祉機器について (高年部・実年部合同)	23	2 月 7 日	関東難聴ブロック研修 会 2/3
3 月 15 日	茶話会(24 年報告、25 年企画案、 折り紙、大人の塗り絵)	25	3 月 7 日	耳の日記念文化祭

女性部

1. 体制

部長: 森朱実 会計: 東保子 支援員: 前田喜久子・大山明美 他 4 名

2. 活動報告

例会: 毎月第 1 土曜日 午後 1 時 30 分～5 時
 役員会: 毎月第 3 水曜日 午後 1 時 30 分～4 時
 会場: 東京都障害者福祉会館

昭和 51 年 2 月 25 日 第三種郵便物許可 (毎週 4 回月曜・火曜・木曜・金曜日発行)
 2013 年 4 月 30 日発行 SSKO 協会ニュース議案号 通巻 8330 号
 発行人 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 (世田谷区砧 6-26-21)
 編集人 特定非営利活動法人 東京都中途失聴・難聴者協会 新宿区新宿 2-15-25-202 TEL 03-5919-2421 (頒価 450 円)

実施日	行事内容	参加者数	関係行事	役員会議
4 月 7 日	野外例会 お花見(新宿御苑)	26 人		4 月 18 日
5 月 5 日	コミュニケーション講座(手話) 講師:五十嵐郁子	28 人	全難聴女性部会議総会 (栃木)* 関東B女性部研修会 (5/26・さいたま市)	5 月 16 日
6 月 2 日	健康体操(太極拳)講師:坂本房子	26 人	全難聴関東ブロック総会 (6/23 スマイルなかの)	6 月 20 日
7 月 7 日	全難聴女性部県部会・総会(例会休 み)		全難聴女性部県部会・総会 (岐阜)	7 月 18 日
8 月 4 日	暑気払い交流会(新宿プリンスホテルランチ)	20 人		8 月 15 日
9 月 1 日	音のない音楽の勉強会 協力支援員:大山明美	26 人		9 月 19 日
10 月 6 日	野外活動(国営昭和記念公園コスモス の丘鑑賞)	25 人		10 月 17 日
11 月 21 日	手作りを楽しむ(クリスマスリース) 協力支援員:石原もとこ	20 人		11 月 21 日
12 月 1 日 12 月 23 日	協会行事クリスマス参加 実行委員(受付担当)	17 人	全難聴福祉大会(埼玉) *第1分科会(東京参加) クリスマス会 12/23(79 人)	12 月 19 日
1 月 5 日	初詣・新年会(とげぬき地蔵尊 高岩 寺)	20 人	1/20 中難協集い(新宿) (受付担当)(350 人)	1 月 18 日
2 月 4 日	話し合う集い(自由発言)	13 人		2 月 15 日
3 月 2 日	耳の日のため休会		関東難聴女性部長会議 (横浜) 1 人	3 月 21 日

青年部

1. 体制

部長:寺田 翔 副部長:石川寛和 会計:酒井宏長 相談役兼監査役:吉野弘規 部員:13 名

2. 活動報告

4 月	お花見	24 人(会員:7)(非会員:14)
6 月	補聴器勉強会	26 人(会員:10)(非会員:16)
7 月	お食事会	18 人(会員:6)(非会員:12)
9 月	スカイツリー	26 人(会員:6)(非会員:20)
11 月	ツタンカーメン	20 人(会員:7)(非会員:13)
12 月	クリスマス会	24 人(会員:7)(非会員:17)
1 月	昼ま de ディスカッション	「集い」午前企画
2 月	若者によるプチシンポジウム	2 月例会担当
3 月	難聴児交流会	「東京都難聴児を持つ親の会」および「聴力障害者情報文化センター」への協力

文化部

【手話サークル 三田屋】

活動日:毎月第 2 金曜日・土曜日(13 時 30 分~15 時 30 分)

毎月第 4 金曜日・合同(10 時 00 分~12 時 00 分)

講師:第 2 金曜日・土曜日:五十嵐郁子先生 第 4 金曜日:4 名の講師が交代で担当

会員:56 名 会議:月 1 回

交流会:クリスマス交流会 集い:企画参加 談話室「手話でおしゃべり」

【手話サークル 三田夜】

1. 体制

(1) 運営委員

代表: 関根一喜 副代表・窓口: 山本寿満子 総務: 篠崎小夜子

会計: 笹岡和子 総務会計補佐: 浦山美佐子 会計監査: 飯泉正子

(2) 指導者 ふくろうクラス: 宮本正明氏 みみずくクラス: 小野孝枝氏

(3) 会員 ふくろうクラス・みみずくクラス合計 期首 58 名 期末 55 名

(4) 運営会議 原則毎月 1 回、サークル活動日の午後開催

(5) 活動日 毎月第 1・第 3 土曜日、午後 6 時～8 時

(6) 活動内容 手話の学習と交流を通して、会員相互の理解と親睦を深める

2. 活動報告

(1) 学習日 上期・11 回 下期・11 回

(2) 行事日 4 月 7 日: 全体会(総会) 5 月 30 日: スカイツリー見学会 8 月 25 日: 納涼会

11 月 25 日～26 日: 京都旅行 12 月 8 日: 夜のスカイツリー見学会

1 月 5 日: 七福神巡り・新年会 2 月 24 日～25 日: 河津桜を見に行こう

【多摩手話サークル】

1. 体制

例会日 毎月第 2 木曜日(小林圭子講師) 第 4 木曜日(自主学習)

会場 多摩障害者スポーツセンター 時間 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

2. 活動報告

4/12・4/26・5/10・5/24(講演会)・6/14・6/28・7/12・7/26・8/9(夏休み)・8/23(納涼会)・9/13・9/27・
10/11・10/25・11/22・12/13・12/20(クリスマス会)・1/10・1/24(新年会)・2/14・2/28(反省会)・3/14・
3/28(役員改選)

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制

代表: 中尾ミヨ 副代表: 古川正己 会計: 草間友子 運営委員: 飯島英男・平高真澄・小机淑子
部員: 33 名(途中退会 1 名)

例会日: 原則として第 1・3 火曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

講師: 真藤千枝先生(原則として第 1 火曜日)

会場: 東京都多摩障害者スポーツセンター

2. 活動報告

面接・説明会: 3 月 27 日 定期総会(22 名): 5 月 15 日 親睦交流会(24 名): 12 月 18 日

手話発表会(18 名): 1 月 29 日

勉強会: 4/17(25 名)・5/1(22 名)・6/5(27 名)・7/3(25 名)・8/7(23 名)・9/4(27 名)・10/2(26 名)

11/6(25 名)・12/4(25 名)・1/15(22 名)・2/5(19 名)・3/5(26 名)

自主学習: 6/19(22 名)・7/17(22 名)・9/18(23 名)・10/16(16 名)・11/20(22 名)・2/19(20 名)

【三田書道サークル】

1. 体制

代表: 片山善衛 運営委員: 2 名 部員: 9 名

講師: 木下修子

例会: 毎月第 1・3 木曜日 午後 1 時 30 分～4 時

会場: 東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

学習は中国古典の臨書、隸書、楷書、行書、草書を毎月計画的に実施。作品の展示は 1 月 20 日の「集い」と 3 月 2 日、3 日の「耳の日記念文化祭」に実施した。

【生け花教室】

1. 体制 代表：飯野堯子 部員：7 名
活動日 毎月第 2・4 水曜日 午後 6 時～9 時 東京都障害者福祉会館
2. 活動報告

四季折々の花、今年も今まで生けたことのない材料に出会い、花の名前や特徴を覚えたり、花の特徴を覚えたりの一年だった。3 月福祉会館での「耳の日」に出展でき、多くの来場者の方々に作品を観ていただき、今後の勉強の励みになった。2 月には毎年恒例の銀座松屋デパートで開催の「古流展」に代表が棕櫚のお生花を出展し、高度な技術に高い評価を得ることができた。また、流派にこだわらず、日本の生け花展に足を運び大変勉強になった。

【手話コーラスすみれ会】

1. 体制 代表：堀江晴子 運営委員：宮坂喜美子・所たづる・渡辺敏子 会員 16 名
2. 活動報告
今年度は第 27 回集いの企画に参加し 7 曲をリクエストで選び発表した。例会では会員の希望を取り入れ、毎回リクエスト曲 6～7 曲を選び、四季の移ろいを手に載せて楽しんでいる。活動後のミーティングタイムは和と親睦を深めながら意見交換の大切なひとときとなっている。恒例になった年 2 回の会食会のほか、12 月のすみれ会 Xmas 会は各自、1 年の成果を発表しあい楽しい交流の場となっている。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表：片山善衛 運営委員：1 名 講師：本間有豊 部員：12 名
例会：毎月第 2 木曜日 午後 1 時 30 分～4 時
会場：東京都障害者福祉会館
2. 活動報告
年間の季節、行事から適宜にテーマを選定。自主性を重んじた自由で楽しい学習を行っている。8 月夏休みに押し花教室開催。展示は 1 月 20 日の「集い」と 3 月 2 日、3 日の「耳の日記念文化祭」に実施。3 月 2 日には体験コーナーを開設した。

【読話サークル】

発足以来変わることなく、楽しく学ぶをモットーに新人も読話力の差を意識しないで出来る練習問題を工夫し読話練習してきた。
運営委員が交代し、毎回の開催準備もスムーズに進んだ。

【天文サークル オリオンの会】

1. 体制 代表：藤田克己 会員数 6 名
協働団体：全国要約筆記問題研究会東京支部、新宿区字幕作成サークル「バックコート@」
2. 活動
名古屋字幕付きプラネタリウム見学・字幕投影リハーサル実施（多摩六都）
字幕付きプラネタリウム開催（世田谷・新宿）・サイエンスカフェ（三田）実施